

旭オポチュニティマッチ 大会要綱 ※レギュレーションは大会ごと

【大会名】旭オポチュニティマッチ（旧教育大会）

【理念】オポチュニティ（機会）をつくる「機会をつくる 機会をいかす」

【主旨】「選手を育成」：いかにして育てるかを模索する場として
「指導者を育成」：いかにして勝つかを模索する場として
「審判を育成」：よりよいレフリングを目指す場として

【目的】「表彰」はあくまで選手モチベーションのため。全選手に対して「M-T-M」の環境を作る

【参加費】各チーム3,500円を当日会場にて*幹事：領収書の用意→預り金は運営部まで

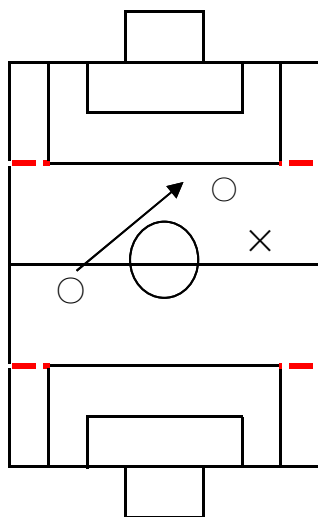
【開会式】全チーム参加にて。大会主旨などの確認

- ・ トライ&エラー。勝ちにこだわり、負けを恐れない。内容にこだわらしましょう
- ・ 全選手を出場させるだけでなく、活躍、勝利、優勝を実現させてみましょう
- ・ 本部にてレフリングを振り返り、見識を深めてみましょう

【表彰】優勝・準優勝（トロフィー）・3位（秘密） 各チーム優秀選手賞

【幹事・本部】試合後のミーティングの場（監督、コーチ、審判）として相応の人を配置願います
記録係としての保護者ではなく、現場対応（指導、審判）できる方をお願いします
開門、設営時刻、運営段取りなどは幹事主導にて通知。決定権は【幹事】に委ねます

【試合方法】・ 【イント`チェンジ】とは：試合時間の半分にて飲水（ランニングタイム）後、イント`を変えてキックオフで開始
・ 予選リーグポイント制（勝ち→3点、引き分け→1点、負け→0点）
・ 勝点が同一の場合は、①得失点差 ②総得点 ③対戦成績 ④抽選の順で決する
・ 全ブロック対象で順位決定（1位-〇位）：同率の場合は抽選
・ 順位トーナメント戦において同点の場合→3人制のPK戦にて決する
・ その他各カテゴリーごとのレギュレーション確認



⇒ 《オフサイドライン》方式*カテゴリーごとに採用不採用あり
相手選手が一人残っていたとしても「オンサイド」
オフサイドラインやより相手ゴール側は通常通りのオフサイド基準
大会当日この赤線部分をラインカーで明示（白点線）

【試合時間】番組表参照

【競技規則】その都度最新年度（公財）日本サッカー協会競技規則による

交替は自由な交替（人数、出入り）

特記なき事項が発生した場合は、幹事の判断とする

【審判】審判服着用の上、別紙対戦表

審判研修も兼ねております。試合後、幹事、本部にてレフリングの確認などを積極的に行いましょう

試合後のセレモニー後、相手ベンチへの挨拶は省略のこと

【進行に際し】

次試合のチームは5分前に本部前に集合し、用具並びにコイントスを行う

チーム表彰対象外チームは試合後本部前にて「優秀選手賞」の授与を行います。集合願います

【問い合わせ】運営部 北井まで